

折に触れ 四字熟語

NO. 225 〔流金鑠石〕 りゅうきん しゃくせき

< 意味 > 高温によって金属を溶かして流し、また、石をも溶かしてしまうこと。厳しい暑さを表現したもの。「金を流し石を鑠す」と訓読する。

< 出典 > 『楚辞』招魂「十日代わり出て、金を流し石を鑠す」

< 故事 > 古い中国の伝説では、十個の太陽が東方の果てに茂る扶桑の木の上に昇り、順番に天空を回って、その熱で、決して溶けたり燃えたりしない金石などもみな溶かしたという。

表 言： 流金鑠石の八月がくる

語 釈： 「鑠」は溶かす意。

一 言： 今年の間東地方の梅雨は大した雨も降らず晴天が続き、おかしいなと思っていた矢先いきなり梅雨明け宣言がなされました。その後は9日連続で猛暑日が続き記録的な暑さとなりました。

参照文献： 岩波書店「四字熟語辞典」